最上川舟運で栄えたまち：
日本三大急流の一つ最上川が蛇行するビューポイント

撮影：2013年8月（山形県・西村山郡大江町）

◆左沢（あてらざわ）線の終着駅のまち
江戸元禄以降、酒田と米沢を結ぶ最上川舟運の中継地として栄えました。最上川を眼下に望む楯山公園からは、かつての船着場風景が偲ばれます。三大急流に架かる旧最上橋(1940年竣工)は土木学会選奨土木遺産に選定されています。また、大江町の「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」は今年３月に、県内初の重要文化的景観に選定されました。最上川沿いの街並みや多くの蔵が残る原町通りなど人々の生活や生業により形成された文化的景観が評価されたものです。

岡村幸二（JRRN会員）